

令和6年度

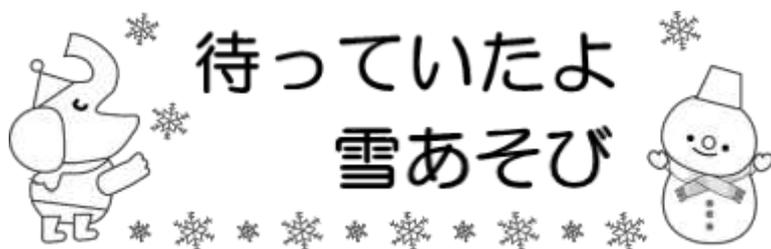


中海小だより

令和7年 2月



校長 若山直代



2月5日（水）6日（木）は、大雪警報が発令され、小松市の小中学校が休校となりました。職員総出で通学路の除雪をできるだけしましたが、翌日には、もう埋まってしまうほどの雪の量。育友会の生活委員さんや保護者の方のご協力もあり、なんとか登下校できるようになりました。2月も終盤に入り、もう降らないことを祈っていますが、今後、降雪量が増した場合は、ぜひ通学路の除雪のご協力をお願いいたします。

大人は、うんざりしている雪ですが、子ども達にとっては「待ってました！」の雪です。12月から、雪遊びの服を学校に準備していたのに、思うほど雪が降らず、ずっとおあずけになっていました。

休校が空けた後で、1・2年生、3・4年生、かすみ学級が、スキー場でそり遊びをしました。降ったばかりのフカフカの雪だったり、足がズボズボはまったりして、なかなか思うようにすべらなかったようですが、待ちに待った雪遊びを十分楽しめたようです。

また、1月31日（金）は、5・6年生が、大杉みどりの里での雪遊び・スポーツを体験しました。初めてのノルディックスキーやかんじきウォークに夢中になって遊びました。

雪は、子どもにとっては、格好の遊び道具。雪を目前に「すべきこと」で頭がいっぱいの私を尻目に、子ども達は、自然がくれた素晴らしい機会を存分に楽しんでいました。最後になりましたが、雪遊びや雪体験のご準備、除雪作業へのご協力、ありがとうございました。

2月 児童集会 「一年間の自分の成長をふりかえろう」

児童会運営委員会が、一年間を振り返って「自分が成長したと思うところ」を交流する児童集会を開きました。子ども達は事前に、自分が一年間でできるようになったことや、がんばったことの中から一つを選んで、画用紙に書いて集會に持参しました。

その画用紙を見せながら、自分の成長したところを伝えたり、相手のことを聞いた後、聞いた後に温かい応援コメントを返したりしました。自分の学年だけでなく、いろいろな学年と交流して一年間のがんばりを確かめることができました。

画用紙にはその学年らしい、がんばったことが書かれていて、日々いろいろなことと出会い、吸収し、大きくなっている子ども達を頼もしく感じました。交流に使用した画用紙は、児童玄関に掲示してあります。機会がありましたら、ぜひご覧ください。



全校でペアを変えながら、交流を行いました。学年、男女関係なく交流する姿が見られました。



十よわとびが
120かいできる
ようになった。

タブレットでローマ字が
うてるようになった。

考えて行動
すること

あきらめずに
何でもチャレンジする

みんなを
まとめる事

とびはこぎ
台上前転ができるようになった。

全校の前やみんなの
前で堂々と発表できるよう
なったこと。

周りのことも
まわ
考える力
かんが ちから

